

授業概要

幼稚園教諭志望の学生が、なるべく早い段階で現場を知り、幼稚園での教育実習に役立つ体験の場を用意して、教員としての資質能力の向上を図ることを目的とした授業である。この授業では、幼稚園に実習する前に学内で実施する「事前授業」、幼稚園での「実習」、実習後に学内で行われる「振り返り」で構成されている。実習前に行う学内授業では、実習するにあたり、必要とされる知識及びスキルを指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	幼稚園の一日の流れ、実習内容などの理解
第 3 回	実習記録の書き方、お礼状の書き方
第 4 回	実習直前オリエンテーション（諸注意）
第 5 回	幼稚園オリエンテーション
第 6 回	
第 7 回	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>教育インターンシップ</p> <p>(1) 活動期間：春期…9月の間の5日間。</p> <p>(2) 活動時間：1日8時間（休憩時間を除く）を上限とし、5日間、30時間を確保する。</p> <p>(3) 活動内容：子どもとの触れ合う中で、子どもの発達、園生活の流れや教員の仕事内容について理解を深める。</p> </div>
第 8 回	
第 9 回	
第 10 回	
第 11 回	
第 12 回	
第 13 回	
第 14 回	
第 15 回	
第 16 回	振り返りと今後の課題

到達目標

- (1) 幼稚園での現場体験を通して、教員という仕事の魅力を感じ取ることができる。
- (2) さまざまな子どもと直接関わりながら、子どもの多様性を理解することができる。
- (3) 大学で学んだ知識を捉え直し、新たな学習課題や学習意欲をもつことができる。

履修上の注意

- (1) 教育インターンシップ I を履修するためには、原則として以下のすべての条件を満たすことが必要である。
 - ① 幼稚園の課程登録をしていること。
 - ② 教育インターンシップの活動期間が「保育実習」と重ならないこと。
 - ③ 教育インターンシップに必要な書類の提出及び手続きを所定の期日までに完了すること。
- (2) 講義や活動の欠席は、特別の場合を除き認められない。認められた場合でも、講義や活動の振替が必要となる。

予習・復習

- (1) 予習
 - ① 大学オリエンテーションなどの講義を通して、現場で活動する心得や姿勢を意識する。
 - ② 幼稚園オリエンテーションの打ち合わせを通して、活動に必要な準備を進める。
- (2) 復習

活動中は毎日、記録に気づきや学びを記入して、活動の振り返りに努める。

評価方法

大学の講義に対する理解 20%、幼稚園での活動に取り組む姿勢 40%、学生の記録への記述 40%

テキスト

テキストは使用せず、毎回の講義に必要な資料を配布する。